

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

相場に打ち克つ強靱な企業を選び抜く時



3月期決算企業の間接決算発表シーズンも後半戦に突入。前半戦では恒例の急騰、急落劇が繰り広げられたが、開示が進むに連れて先行発表の同業決算で反応を先取りしている銘柄も多く、開示後の反応も鈍ってきている。今週にも企業業績が出揃うことで、今後は、業績の悪いものを売り、業績の良いものに乗り換える「選別物色」を強めていくのではないか。

ただ、外部要因は依然振るわない状況が続く。欧州債務問題もギリシャの姿勢が明確ではなく、支援側の主要国ドイツ、フランスの苛立ちも隠せない。イタリアなど高債務国の問題も抱え、未だ二転三転しているのが現状だ。米国も当局の金融緩和策発動が待たれる局面で、投資家心理も「及び腰」となっている。

足元の地合いが振るわないなか、保有株として信頼できるのは今回の決算で好業績を示した銘柄だろう。とくに外部要因が振るわず、円の戦後最高値更新に揺れるなかで着実に利益を上げる「強靱な利益体質を持つ企業」こそ、選別物色で注目され、安定性を欠く相場に打ち克つ存在ではないか。

そこで弊社では、決算シーズン後の投資戦略をまとめた「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。保有に適した「超好業績株」を厳選銘柄としたい。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。